



プレスリリース / PRESS RELEASE

第 127 /2567 (Aor. 58) 号

2024 年 9 月 19 日

タイ BOI、ハイアールの 130 億パーツを上回る投資を承認
タイをスマート家電製造拠点に

BOI は、世界で売上 1 位を誇る中国大手家電ブランド「ハイアール (Haier)」による 130 億パーツ以上の投資奨励を承認しました。タイをハイアールの最大の空調機器製造・輸出拠点へと格上げし、技術の変革により急成長している家電業界に対応します。新工場は 1 年以内に稼働する予定で、3000 人以上のタイ人を雇用し、年間 320 億パーツの輸出増加が見込まれます。

投資委員会 (BOI) 長官のナリット・テートサティーンラサク氏によると、BOI から権限を委任されたプロジェクト検討委員会がハイアール・アプライアンス・マニュファクチュア株式会社のスマート空調機器製造事業を承認しました。同社は、「ハイアール (Haier)」のブランド名で知られる中国の大手家電メーカーであり、ユーロモニターランキングで 2009 年から 2023 年までの 15 年連続で売上世界 1 位となっています。

このプロジェクトでは、データを検出、受信でき、Wi-Fi ネットワークを介してスマートフォンや他の機器と接続することができるスマート空調家電を年間 6 百万台生産予定で、投資額は 134 億パーツに達します。新工場は、チョンブリ県の WHA イースタンスーパーボード 3 工業団地内に位置し、面積は 200 ライ (約 32 万平方メートル) です。フェーズ 1 では 300 万台の生産能力を整え、2025 年 9 月に生産を開始し、2027 年には全面稼働します。3000 人以上のタイ人を雇用し、輸出額は年間 320 億パーツを超える見込みです。

「ハイアールは、新工場の建設のため大規模な投資を決定しました。タイの優れたインフラ、特に安定した電力供給、強固なサプライチェーン、物流面が整備された戦略的な場所に位置していること、輸出をサポートするための港湾や利便性の高い輸送路があることを評価し、タイを中国国外で最大のスマート空調家電の製造拠点に選定しました。また、政府の投資促進策も評価されました。この投資はタイにとって雇用創出や人材育成、国内原材料の活用、世界市場におけるタイの輸出拡大に寄与します」とナリット氏は述べています。

ハイアールグループは、チョンブリー県の新プロジェクトの他に、これまでもハイアール・エレクトリック（タイランド）株式会社がタイで冷蔵庫、洗濯機、電気炊飯器、電気ポット・電気ケトル、冷蔵庫用コンプレッサーなどの製造事業に対して投資奨励を受けており、合計9件、総投資額は30億バーツに上ります。プラチンブリー県カビンブリー工業団地にあり、現在、旧工場での冷蔵庫製造事業を拡大する準備を進めています。

現在、タイはASEAN地域の電化製品産業の主要な生産拠点であり、タイの主要な輸出製品です。AIや5G、IoTなど消費者がインターネットを介して自宅にあるさまざまな機器に接続し、コントロールすることで現代社会の生活のスタンダードを変えたデジタル技術の発展することでスマート家電製品の市場は今後も拡大し続ける見込みです。

電気機器産業の「スマート家電」へのアップグレードを促進することは、BOIの主要な目的の一つです。電気機器やその部品産業において、2023年から2024年6月までに144件のプロジェクト、合計985億5000万バーツの投資額が申請されました。このうち80%以上がスマート家電製品のグループに属しています。ハイアールに加え、三菱、ソニー、ダイキン、サムスン（Samsung）、エレクトロラックス（Electrolux）、美的（Midea）などの主要ブランドもタイを製造拠点としています。

BOIは全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”